

令和7年1月号 下忍小学校だより



# 下忍小タイムズ

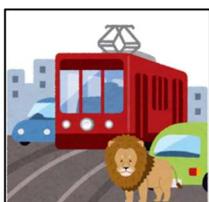
【学校教育目標】 自ら学び やさしく たくましく

【目指す学校像】 みんなでつくる 笑顔輝く あたたかな学校

〒361-0037 行田市大字下忍 2451 番地 TEL:048-556-2404 児童数:84名

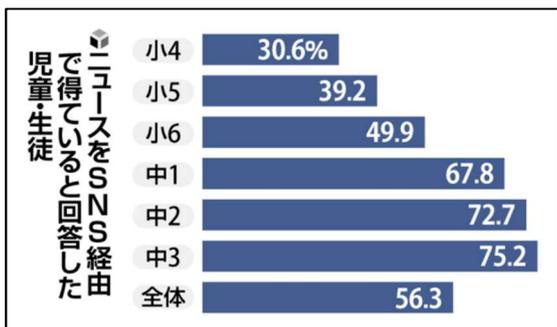


## 正しい情報かを見抜く力 校長 平井 薫



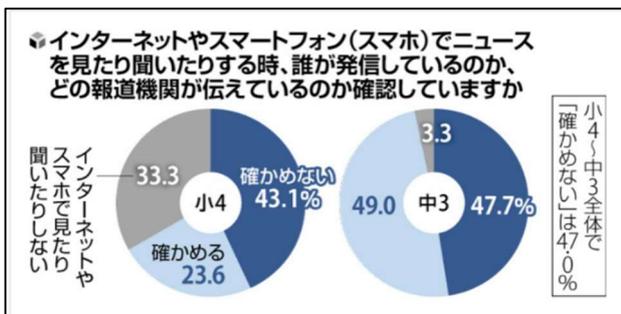
2016年の熊本地震発生直後に、「ライオンが動物園から逃げた」とSNSに投稿し世間を騒がせた事件がありました。数か月後に逮捕された人物は熊本ではなく他県の人物で「悪ふざけでやった」と述べていました。AIで簡単に画像を作ったり、人の注目を集めるために嘘の情報で煽ったりする人が増えています。

このような偽の情報に振り回されることなく、正しい情報かどうかを見抜く力が、これからの社会を生き抜く子供たちに益々必要になってきていると感じます。



2021年に読売新聞社と電通総研が実施した「小中学生のニュースに対する意識や読み方」の調査から、「学年が上がるほどSNSから情報を得ている子供が増える」結果でした。しかし、「家族や教員とニュースについてよく対話する子供ほど、学年が上がるにつれて情報の発信源を確認するようになる傾向」も明らかになりました。家族と「よく話す」と答えた子供(41.3%)が情報の発信源を確認する割合は、小学4年で35.7%、小学6年で49.5%、中学3年で53.2%となった一方で、「あまり話さない」子供のうち、発信源を確認するのは小学4年が10.0%、小学6年が16.2%、中学3年も27.8%にとどまっています。12月の3校合同学校運営協議会において、グループに分かれて「学力向上」の熟議を行いました。複数のグループから「新聞を読む」ことが提案されました。

有難いことに本校は、市の教育振興補助金で令和6年度1年間はこちらも新聞の購読ができます。こども新聞を読んだり、スクラップノートをつくったりすることは、言葉を豊かにすることや正しい情報を正しく読み取る力につながります。3学期はこれまで以上に各学年で活用していきます。



### ◆参考◆NHK for schoolの「フェイクニュースに振り回されない・見抜く方法」から

- ・ポイントその1:「情報の発信元に注目」
- ・ポイントその2:「ほかのメディアでも扱っているか」
- ・ポイントその3:「情報のおおもとを調べる」

◆1年生から3年生及び特別支援学級児童の保護者様へ◆

この度、(株)新潟精機様から「快段目盛(15cm定規)」をいただきました。無償のため提供数に限りがあり、1年生から3年生及び特別支援学級児童への配付となります。今週中に担任を通して配付しますので、ご家庭でもお子様とご確認ください。

◆1月21日(火)「不審者対応避難訓練」について◆(再掲)

行田警察署の協力を得て実施します。生活安全課の方が不審者役となり、本校に侵入する設定で訓練を実施します。担任は教室にカギをかけて児童と一緒に教室内に待機し、その間、他の教職員は警察が到着するまで時間稼ぎをして不審者に対応します。

不審者役の警察官は薬物乱用防止教室でお世話になった方ですが、サングラスとマスクを着用し、叫んだり、音をたてたりします。事前指導の際、担任から児童にどんな訓練になるのかを話します。



日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	水		16	木	運動 学カテスト
2	木		17	金	
3	金		18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	委員会⑨
6	月		21	火	タブレット 不審者対応避難訓練 ふれあいデー
7	火		22	水	6年租税教室
8	水	登校指導 通常3 第3学期始業式 学級	23	木	運動
9	木	5時間 読み聞かせ 給食開始 発育測定1~3年 校内書きぞめ競書会	24	金	B5 教育相談日② 4年認知症講座
10	金	発育測定4~6年	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	クラブ⑧
13	月		28	火	全体朝会 6年租税教室②
14	火	タブレット ふれあいタイム⑤	29	水	スイスイ水曜日
15	水	B5 安全点検日	30	木	学級 校内なわとび大会 1年昔あそび体験
			31	金	

★児童の様子等をホームページで紹介しています。「行田市立下忍小学校」で検索、または、右側のQRコードを読み取ってご覧ください。



## フェイクニュースに惑わされないで！

フェイクニュース(二重情報・誤情報)による混乱が社会問題となっています。状況によっては、災害救助の妨げになるなど、人命に関わるケースもあります。安易に投稿を拡散させないよう心がけましょう。

### 事例

架空の住所・氏名等を記載した救助要請  
AIなどで生成した偽画像を添えた被害報告



### 注意するポイントは...

- ▶ 専門家や著名人だからといって正しいとは限りません！
- ▶ 海外ニュースや論文が悪用されがち。よく見ると関係のない情報だったりします。注意して下さい！
- ▶ センセーショナルで派手な見出しには特に注意を！
- ▶ 私は「騙されるかも」「見分けられないかも」と身構える意識が重要です！
- ▶ 拡散したくなる情報は特に怪しい。そのフェイク拡散を止められるのはあなたです！
- ▶ 拡散させる前に2~3日待つ。フェイクなら誰かが指摘するはずです！



監修:サイバー犯罪対策技術顧問 小木曾 健(国際大学GLOCOM客員研究員)

